

NISHIWAKI



西脇ライオンズクラブ  
国際協会335-D地区3R-2Z

# LIONS CLUB NEWS

会長テーマ — 協 勵 —



Vol.53 No.9 2015.3.24発行



## 西脇多可新人高校駅伝「ぜんざい」の炊き出し

2015.2.15



会長 L岡本和明

### <3月第1例会挨拶>

会員の皆様、本日も例会出席ありがとうございます。

本日は朝から寒く、気温が上がらず、午後から雪が降るとの天気予報になっておりましたが、午前11時前には吹雪っていました。

前例会後の2月19日が二十四節気の一つ『雨水(うすい)』で「空から降るもののが雪から雨に変わり、氷が溶けて水になる」頃と言われています。その後、三寒四温を繰り返しながら、春に向かって行くと言われています。

三寒四温とは、寒い日が三日ほど続くと、その後四日間ぐらいは暖かいと言うことで、3月6日が二十四節気の『啓蟄(けいちつ)』で「大地が暖まり冬眠していた虫が、春の訪れを感じ、穴から出てくる」頃だそうです。実際に動物や虫たちが冬眠から目覚めるのは、最低気温が5度を下回らなくなつてから、平均気温が10度以上になってからだそうですが。

本日の最高気温は午後3時で4度の予報で、10時現在北播丹波地方に風雪・雷注意報がでております。午後6時には1度までに下がるようですので、風邪などひかれないようにご注意願います。

さて、明日3月11日で東日本大震災が発生してから4年が経とうとしております。東北を中心とした復興事業が進められているようですが、思った以上に進んでいないという特集が各局で放送されています。

3月14日には北陸新幹線が東京～金沢間で開通いたします。将来的には、金沢～敦賀間そして敦賀～大阪間が開通するのですが、その裏でトワイライトエキスプレスが引退いたします。非常に残念です。

さて、夏期派遣学生に推薦しておりました藤田誠也君が、2月23日付にて2014-2015年度夏期派遣候補生に決定した旨が地区キャビネットから届きました。派遣先はMD19となっております。

また、新入会員の皆様にはお忙しいとは思いますが、3月27日に開催されます2R・3R・4R合同の新会員スクールに参加頂きたいと思うと同時に、4月12日の第61回地区年次大会にもご参加くださいますようお願いいたします。

本日は冬期派遣学生の宮崎昌人くんより派遣報告がございます。現地での貴重な経験等をご報告していただけると考えます。

これを以て会長挨拶とさせていただきます。

ご清聴ありがとうございました。

西脇LCアクティビティスローガン —— 次世代に引き継がれる社会奉仕を ——

# YCE派遣事業報告

(クロアチア)



宮崎 昌人 様

クロアチアに3週間滞在し、それぞれ3家族にホームステイさせてもらい、クリスマス、新年など日本と違う文化を学び、また、日本の文化を慣れない英語で教えたりもし、私にとっても大きな収穫となりました。

このクロアチアでの3週間という貴重な体験はこれから的人生で何処かで役に立つと考えております。

最後になりましたが、支援してくださった西脇ライオンズクラブの皆様には大変感謝しております。

ありがとうございました。

ホームステイした場所



第二ホストファミリー



第一ホストファミリー



クロアチアでの活動内容



貧困の人たちに食料などを配布

バナーの交換

クロアチアでの活動内容



日本についての発表

ホントの交換留学



この人知っていますか？

アレクサン德拉・ライグナトスキ(通称：アビ)

アビのお母さんに手作りキルを案内してもらいました

## 西脇多可新人高校駅伝競走大会に「ぜんざい」の炊き出し



心配していた天候にも恵まれ、早朝6時30分より餅焼き用の炭に着火。クラブメンバーが集合次第、作業の出来る準備にかかる。毎年「ぜんざい」ファンが増加している傾向から、今年は餅も200個増やした。大会同様、このアクティビティも7回目となるためか、メンバーも手慣れたもので、9時の提供開始に向かって、和気あいあいと作業を進める。大きな釜に2杯の汁粉、餅が1200個、提供開始から次第に長蛇の列が、餅の焼けるのが間に合わない、お椀に注ぐ者もてんてこ舞い、大会に来賓で見えていた藤井比早之代議士が、見かねて飛び入りで手伝いに参加、そのせいか、ますます列が伸びる。「おいしかった」「ごちそうさま」の声に喜びを感じ、完食いただけたことに感謝の奉仕作業だった。

社会奉仕委員会 委員長 L高橋博久



### 第1250例会 会員スピーチ

2015.2.17



「私の履歴書」と題して、スピーチを頂きました。（詳しくはHP）

L.藤井泰造



「インフルエンザ予防」のお話を頂きました。

L.河原 淳